



浜田小HPはこちら

勤労感謝の日に寄せて

11月23日（水）は勤労感謝の日です。そこで勤労感謝の日に合わせて、先生方の仕事について、今一度考えてみました。校長室には、いろいろな資料が保管されていますが、今から50年以上前の資料は、そのほとんどが「手書き文字の印刷物」です。「達筆だなあ。」と感心しながらも、「間違えたら訂正するのが大変だっただろうな。」と思います。現在はパソコンで文書を打ち込み、プリンターで印刷をするまでは、何回も修正が可能です。



パソコンを使用すると確かにきれいな紙面になりますが、昔のような「手書きの味」はないのかもしれませんが。現在、先生方の仕事の中で「手書き」のものは、「黒板」「連絡帳の返信」「ノートや作品へのコメント」くらいかもしれません。プリントも掲示物も、パソコンで打ち込んだ「整った字」が主流です。

パソコンで文章を作ると「整った字」になるとともに、「データとして残る」メリットもあります。新しい文書を作成する際、自分が以前に作成した文章を参考にしたり、他の方とデータを共有したりするなど、全くの白紙からスタートしなくてもよくなりました。このように、先生方はいろいろな仕事を効率的に行っています。

さて、連絡帳についてですが、ネットを見ると、「小学生になって、連絡帳に先生が書いてくれる文章量が少なくて残念。幼稚園の頃はたくさん書いてくれていたのに。」「事前にお便りで持ち物の連絡はもらっているが忘れるので、先生が連絡帳に書くなど、改めて持ち物の連絡をしてほしい。」など、思わず「ん？」となる意見がありました。

最近では、メールでいろいろな連絡ができるようになってきましたが、小学校での連絡手段としては、連絡帳は欠かせない存在です。そんな連絡帳の性格上、いただいたその日（朝）のうちに見て、お返しすることになりますが、先生方は、いつ見て、コメントを書いているのでしょうか。恐らくは、「朝の自学の時間」「休み時間」「昼食時」といった授業時間の合間です。本来は、「自学を見守る時間」「授業の合間のトイレタイムや次時の準備時間」等を削って対応していることになります。

浜田小学校の状況を見ると、児童数が少ないので、連絡帳への対応もあまり時間をかけずに行うことができます。そして何より、保護者の皆様からは、前述したような「ん？」と思われるような声もありません。おかげさまで、本校の先生方は、子どもたちをしっかりと見ながら、日々の仕事を行っています。これからも、子どもたちのために、がんばって仕事をしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

秋田市公式YouTube

チャンネル

浜田小サポアート

・スイカ割り2022

<https://youtu.be/DXu3sS42QxU>



寒くなってきました。今一度、交通安全を！

11月も後半になり、いつ雪が降るのか、ドキドキしています。車を運転されている方は、タイヤの交換等はお済みでしょうか。寒くなるにつれて、登下校の際の車による送迎の機会も増えます。路面の状態に注意するとともに、周囲の安全をしっかりと確認をし、安全なスピードで運転をしていただくようお願いいたします。



合流の際には
特にご注意ください

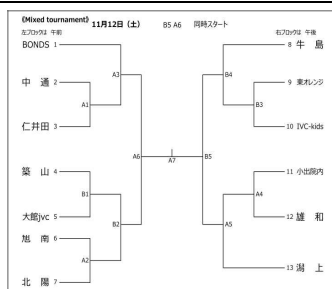
優勝おめでとう!! ～バレーボール～



11月12日(土)に行われた「第2回藤田杯争奪バレーボール大会」において、6年生が所属する「BONDSバレーボールクラブ」が見事優勝に輝きました。これからはがんばってください。応援しています。



会場の由利本荘市総合体育館



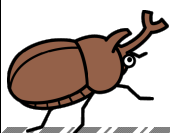
浜田小学校の子どもたちは、生き物が大好き!!

11月27日(日)、大森山動物園で、令和4年シーズンの最後を飾る閉園イベント「さよなら感謝祭2022」が開催されます。大森山動物園には、スタックスの栽培や校外学習などで大変お世話になっており、毎年、浜田小学校の代表がこの感謝祭で動物園へのメッセージを発表しています。今年も、3年生のお友達が代表で発表をします。



大森山動物園とは、強いつながりがある浜田小学校ですが、どの学年の子どもたちも動物や生き物が大好きです。ソフトハンド浜田の石垣にかわいい生き物を描いた際には、好きな生き物が多すぎて、「どの生き物を描こうか。」と、みんな迷っていました。特に1年生は、虫や小動物が大好きで、教室でも、たくさんの生き物を飼育していました。

小学校での学習内容は、「小学校学習指導要領」に示されていますが、「身近な動植物に興味・関心をもつ」ことは、生活科や理科等の学習内容に関わっています。各学年ごとにその内容を見てみると、1・2年生では、生活科の学習などをおして小動物の世話や飼育、植物の栽培や観察などを行います。そして、自然や動植物を大事に守り育てようとする気持ちを育みます。3・4年生では、理科で動植物の学習をし、動植物と自然環境との関わりについて考えます。そして、身近なところから少しずつ自分たちなりにできることを実行しようとする気持ちを育みます。5・6年生では、理科や総合的な学習の時間に、動植物に関する学習を行います。その中で、人間と自然や動植物との共存の在り方を積極的に考えるとともに、自然環境を大切にすることや持続可能な社会の実現に努めようとする態度を育みます。



話はかわりますが、先日、動物に関する残念なニュースがありました。群馬県で「自宅で飼っているペットたちが、水を浴びせられ、シャベルや岩を投げつけられた。」というものでした。被害に遭った方が防犯カメラを確認したところ、ランドセルカバーの色から近くの小学校に通う子ども(1年生)がやったことが分かり、その方は、警察に被害届を出し、学校にも連絡をしたそうです。ネットの記事のため、詳細なことは分かりませんが、「小学生(1年生)が勝手に自分以外の家の庭に入り、その人が大切にしている動物にひどいことをした。」ということにショックを受けました。

「小学校学習指導要領」には、「身近な動植物に興味・関心をもつ」などの「自然愛護」に加えて、「生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること」についての項目もあります。主として人間の生命の尊さについて考えを深めることが中心となるものの、生きているもの全ての生命の尊さも大切に考えなければなりません。



「自然愛護」や「生命尊重」に関する学習については、書籍や動画等をおして学ぶことも可能ですが、「生きた体験」に勝るものではありません。動物園が近くにあり、自然に囲まれた浜田小学校では、これらの学習を「生きた体験」として行う事ができます。本校のすばらしい学習環境を改めて実感した次第です。